

## 第2回 村岡新駅周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

【日時】 2023年(令和5年)1月25日(水) 10:00~12:00  
【場所】 藤沢市役所本庁舎 7階 7-1 会議室  
【議題】 ①まちづくりコンセプトブックについて  
②まちづくりコンセプトブックビジョン編の骨格、方向性について

### 【出席者】 <市民代表> (敬称略)

渡場 清治 村岡地区自治町会連合会  
鳥海 早苗 村岡公民館選出

### <地元地権者等>

林 岡治 土地区画整理事業区域 地権者会議 個人地権者代表  
沼田 稔 土地区画整理事業区域 地権者会議 個人地権者代表  
曾我 新吾 土地区画整理事業区域 地権者会議 法人代表 三菱商事株式会社  
林 雅樹 土地区画整理事業区域 個人地権者等

### <学識経験者>

中島 直人 東京大学 准教授(会長)  
石山 さつき 都市プランナー/  
慶應義塾大学環境情報学部非常勤講師(副会長)

### <経済団体>

相澤 光春 藤沢商工会議所  
竹村 裕幸 藤沢商工会議所

### <関係事業者>

林 弥史 (株)神戸製鋼所 藤沢工場(代理:松窪氏)  
渡辺 敬介 湘南ヘルスイノベーションパーク  
高橋 智志 東日本旅客鉄道(株) 横浜支店

### <藤沢市>

三ツ井 幸子 企画政策課長  
青木 将徳 産業労働課長  
森井 壽浩 都市計画課長  
額賀 健一 都市整備課長

### <オブザーバー>

神奈川県  
鎌倉市  
独立行政法人 都市再生機構

### <事務局>

都市整備部 都市整備課  
(運営支援) 昭和株式会社

### 【資料】

(資料1) 村岡新駅周辺地区まちづくり協議会【第2回】

(資料2) 協議会等のご意見と「将来地区像を実現するまちのあり方」について

(参考資料1) 「村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック」

作成有識者会議設置要綱

(参考資料2) 村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック作成有識者会議  
議事概要

## 内 容

(敬称略)

### 1 開会

事務局 設置要綱第 8 条第 2 項で会長及び半数以上の委員の出席を必要としております。本日は委員 17 人中 16 人が出席いただいておりますため定足数を満たしており、本日の会議が成立していることをご報告いたします。

また、会議録作成のため録音と写真撮影をすることをご了承願います。

本会議の主催を代表いたしまして藤沢市 都市整備部参事の額賀より、一言ご挨拶させていただきます。

額 賀 本協議会は昨年 10 月に第 1 回を開催し、本日は第 2 回となります。藤沢市は村岡周辺地区を都市拠点の 1 つとしてまちづくりを進めているところであり、本協議会もそれを担う重要な会議と位置付けております。前回の会議では、これまで作成したまちづくり方針の具体化を図るため、事務局よりガイドラインとしてビジョン編、アイデア編、ルール編の 3 部構成からなるコンセプトブックという形で作成することを提案させていただきました。本日は、コンセプトブックのビジョン編の考え方を整理してきたので確認していただきたいと思います。今年度はコンセプトブックビジョン編の作成を目指しているの、より具体的に分かりやすく読みやすいという点を念頭に置きながら次回には素案としてたたき台を提示したいと考えています。忌憚のないご意見を頂戴し、新しい街、将来像である尖る創造と広がる創造を生み出す街にふさわしいまちづくりに向けた検討をするため、活発なご意見をいただけますようお願いいたします。

事務局 続いて、本日の資料のご確認をお願いします。

事前送付したもの 次第、資料 1、2、参考資料①、参考資料②

本日配布したもの 座席表、第 1 回まちづくり協議会議事要旨

まちづくり方針冊子

「第 1 回まちづくり協議会議事要旨」について事前に委員の皆様を確認いただき、少し修正しましたが内容は変更していませんのでこれで確定とさせていただいて、今後 HP で掲載させていただきます。

事務局 会議の公開について。

この後の議事では、まちづくりコンセプトブックについて、まちづくりコンセプトブック・ビジョン編の骨格・方向性についての 2 点の意見交換を予定しているため、事務局としては公開が良いと考えていますがいかがでしょうか。

会 長 事務局より今回の会議は公開ということで良いのではないかとありましたが、何かご意見はありますか。

特に無いようなので会議を公開ということで良いと思います。傍聴者には配布されている傍聴要綱を守っていただくこととします。本日、傍聴の方はお見えでしょうか。

事務局 2 名、お見えです。

会 長 傍聴の方の入室をお願いします。

(傍聴者入室)

傍聴の方に申し上げます。ルールを守っていただき傍聴されるようお願いいたします。

事務局 議事に入りたいと思うので中島会長よろしく申し上げます。

## 2 議事

### (1) まちづくりコンセプトブックについて

会 長 本日は2つの議題があります。1つめのコンセプトブックについては、まちづくり方針を具体化していく中で、コンセプトブックと名付けたように、この事業に様々な人に協力していただき、周辺地域の方々や民間事業者の方々等に対してまちづくり方針を共有していく必要があります。今までのまちづくり方針だけでは不足している事も多いため、いかに具体化しながら共感してもらえるかという役割を担っているのがコンセプトブックであります。この会議と並行して有識者会議でもコンセプトブックの在り方を検討しており、そちらでの検討、前回会議の検討を踏まえて更にコンセプトブックの記載内容がはっきりとしてきたということで、まずは事務局よりコンセプトブック全体の内容について説明をお願いします。

事務局 (資料1 村岡新駅周辺地区まちづくり協議会【第2回】のp1~2 を用いて説明)

会 長 コンセプトブックの内容に入る前に在り方・役割等について整理していただきましたが、今説明いただいた資料1、2ページ目についてご質問・ご意見はありますか。最終的には冊子等になりますが、これ自体が果たす役割が何なのかということで、今まではガイドラインを作って行政が一方的に発信していくことがよくありましたが、コンセプトブックは作る過程・使い方を含めて様々な人が関わられるようなコミュニケーションツールとなることが一番の役割であると設定されています。例えば一方的に解釈するのではなく2ページ下に示す共創に繋がっていくように、アイデアを出したくなるような伝え方をこれから追及していきたいと思っています。歴史の部分については、そもそもどういう成り立ちと特長があるのかを多くの人に共有してもらうことが一番大事なことであります。地元の方からみて不足している点やピントが外れていることなどはないでしょうか。

a 委員 歴史、立地特性、概要しか記載されていませんが、例えば、神奈川県や藤沢市・鎌倉市で実施しているようなヘルスイノベーション最先端拠点形成やアイパーク等の施設にどのようなポテンシャルがあるのか、昨年3月に藤沢市主催で未来共創セッションを実施して、住民参加で地域カラーをどのように捉えていくかという話も盛り込む必要があるのではないのでしょうか。地域の強み、留意性、課題も記載しながら考えていくべきだと思います。

会 長 強みや課題について、何をコンセプトブックに入れるのか事務局で検討してほしいと思います。

b 委員 村岡には縄文時代の遺跡もあちこちにあったので、古い歴史という意味ではそのあたりも記載してはどうでしょうか。

会 長 昔から住まわれてきた場所であるということも記載してはどうかということですね。他にご意見がなければ共有できたということでよろしいでしょうか。ビジョン編の骨格、方向性の検討に移ります。

### (2) まちづくりコンセプトブックのビジョン編について

会 長 事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料1 村岡新駅周辺地区まちづくり協議会【第2回】p3~6 と資料2 協議会等のご意見と「将来地区像を実現するまちのあり方」との関連を用いて説明) 会 長 具体的なアイデア含めて3つに整理して説明していただき、今年度あと1回会議があるのでそこで固めたいということで、今回は様々な意見を頂いてそれを踏まえて次回はある程度完成したものになる予定です。本日の意見は大事なので少しでも気になったこと、質問・ご意見をお願いします。

- c 委員 全体的な感想としては、これまで出た意見がよく反映されており、特に2つ目の柱の5ページ「まちとしての創造性が発揮される仕組みをつくろう」にある共創の仕組みですが、我々はアイパークで事業を営んでいます、まさに大きな建物の中ではキーワードは「共創」であります。中に入居される方がイノベーションに向かって一緒に何かを作るかということが共創の本質なので、目的をはっきりさせた上で連携する関係を沢山作って成果を上げていくことを日々実施しています。それを街に広げて住んでいる方達とも一緒に共創することを呼びかけており、2ページで説明いただいたコンセプトブックの目的と役割の中に共有・共感・共創の3つのキーワードで貫かれている物語性というか、共創に向かって手を携えていくところは非常に共感するところでもあります。このような考え方でアイパークを運営してきたことは、呼びかけはイベント等で実施するが今一つ反応が無い。エリアの方々に理解していただけない。アイパークで最先端の科学者がライフサイエンスの発明・発見をしようとして実施している事と皆さんがこのエリアに住まれて日々の生活がより健康になっていく、デジタルの力を借りてより便利になっていくことは同一線上にあって享受者ばかりではなく自らも共創に参加して発明・発見が出来るチャンスがあるエリアだと捉えてもらえれば、いくらでも便利グッズや健康のために良い物が作っていけると思っています。我々の様々なイベントや3月10日にアイパーク内で行われている化学の紹介やベンチャーが生まれて新しいビジネスがどのように生まれていくのか説明するコーナーを新装しました。まさに5ページに書いてあることを実施しようとしているので一緒に実施していきたいと思えます。
- 会 長 アイパークが5年かけて少しずつこの街で根付かせてきている事を今回の開発で一気に広げていく事になると思いますが、なかなか難しい面もあるということなので、今回、仕組みだけではなく人々の感性を育むような取組みや形で恐らく呼びかけも成果が上がってくるような街に繋がっていくと思うので、今までの取組みとの連続性があり高評価いただいていると受け止めました。
- d 委員 イメージがだいぶ湧いてきました。私は教育関係の仕事をしており、子供の話で学校というワードについて質問させていただきます。5ページに「未来の研究・技術者を育てる教育環境」とあり、このエリアは決して広くないと思うのですが、ここに可能性として本当にあるのでしょうか。もしあるのであれば、どのようなところで企業や先進的な事と繋げていくのでしょうか。街ができるのであれば、そこには子供の姿があって然るべきと思っています。自然、山を大事にしつつ先進的なものをつくっていくというのは、自分が見た街の中では辻堂の駅や藤沢の駅は開発されており、そういったものは一切無くなっているのでは併用可能なのかと感じています。ただ、提案していただいているので可能性を感じるころでもあります。もう一つ。全体的なキーワードとして高齢化があります。村岡は年配の方が多い地域でもあり、そういった方々の生活の中にどのように落とし込んで繋げていくのでしょうか。皆さんが暮らしやすい街をつくっていくという視点の話も必要なのではないのでしょうか。
- 会 長 1つ目の5ページの⑤について、具体的な学校が想定されており、既存の学校もあるし誘致ということもあるが、可能性はどのように考えているのでしょうか。
- 事務局 5ページに中高一貫校、高等専門学校、大学等と記載していますが、現時点で予定があるものではありません。あの空間に中高一貫校のグラウンド等まで含めて作れるほどの範囲か考えると少しミスリードの感覚がありますが、一方で、都内をみると駅前に大学そのものが来ているところもあります、一部その機関が来ていたり、研究室が駅前のビルに入っている等の様々な形で駅前に立地と、やはり研究開発拠点で人材にも来てほしいし、更に人を育てていくという役割も担っていきたいということで、学校1つが来るという形に拘ったものではなく、学生や高校生がここに来るきっかけを作るような機能を誘致できないかという意図で事務局としては記載しています。
- 会 長 今回は狭い範囲の開発であるが、周りの小学校や中学校との連携で実現することもあると思います。地区を超えた広がりの中で実現していくのではないのでしょうか。あの地域だと小学校は南と北で分かれるのでしょうか。

事務局 小学校は村岡小学校が一番近いと思います。

会長 具体的に村岡小学校との連携が入ってくると良いと思うし、高等教育のラボのようなものやアイパークにも大学が入っているの、そのような所と接点は出てくると思います。

もう1点、高齢者の暮らしについてですが、創造性というのは決して若い人だけではなく、高齢者の暮らしの中で創造性を発揮することで例えばモビリティや交通の面で暮らしやすくなることのあるのではないかと思います。今回の資料で例えば4ページの図を見ると確かに高齢者のイメージは読み取れないかもしれません。事務局から補足等あればお願いします。

事務局 今回の資料の中では薄くなっていますが、まちづくり方針の中では高齢者が増えて自家用車の問題等が出てきている中で、そこをどのように繋ぐかは大事な問題であり、まちづくり方針の1つの柱として新しい交通結節点作りというところで新しいモビリティや様々な仕組みを使いながら村岡地区全体の中からいかに移動しやすくするかというところを一番のポイントとしています。そこが示せていませんが、4ページに「自分の時間・スピードにあった豊かな移動環境の中で磨かれる感性」と記載しておりまして、移動環境を楽しんだり、自分が意図する所に移動できることで何処かに到達して様々な交流を得られることをある一定の世代だけでなく、子供から高齢者まで多くの方々が移動できる環境をどのように作るかということは重要な問題として、まちづくり方針の大きく掲げているものをこのライフスタイルの中に落とし込んでいきたいと思っています。

先ほどの回答が1点抜けていました。

山と合わせて回遊できる街は出来るのかというところではありますが、今回は駅前の宮前公園を都市計画決定をし直して、公園の位置をずらして神社と一体となった形で公園を作ることを考えています。駅の直近となりますが、あの空間を生かして保全・活用していく空間としたいということと、鎌倉古道が昔の形を残してあるので、そういったものも街の1つとして新しい街の中に取り込んで街の姿にしていきたいと考えています。

会長 子どもの視点と高齢者の視点は大事なことであります。今回ははっきりと出ていないので、次の最終的なビジョン編の中では分かるように修正したい。

e 委員 この地域は他の13地域と比べてどのような地域かと質問を受けることがあり、非常に穏やかな人が多い地域だと答えています。これはどのようなところから来ているのかと考えますと、地域の文化であり、その文化はどこから来ているのかというと、神社仏閣が多く、合わせてお祭りが多い地域であります。村岡地区は神社仏閣を中心として村が出来て発展してきました。その中で人の繋がりが強く、人の繋がりがあって今日の村岡地域が出来ているのではないかと思います。新駅周辺のまちづくりであるが、新しい街の人との繋がりが大切にしていかなくてはいけないし、今までの文化も大切にしたい。アイパークの従業員の方も沢山この地域に住んでおられて、その方々からアイパークでイベントがあるという話があるところに行ってみようかなるかもしれない。企業から呼びかけても住民はまだすぐに対応できないのではないのでしょうか。知り合いが近所において、その人から声をかけられたので参加しようということになるのではないかと思います。やはり繋がりを作っていけるようなコンセプトになってほしいです。

会長 企業と人より人と人の繋がりを育んでいかないと仕組みが機能しないということで、今回のビジョン編でも強調すべき所だと思います。今までは企業と住民という構図になってしまっています。企業側もそこで暮らしを営むことをしつつ人と人との関係を作っていくというあたりが1番2番のところイメージされると今までの企業と住民の関係から変わってくるのではないのでしょうか。また、穏やかなところはとても大事なところだと思います。創造性というのが穏やかという言葉とマッチしているかというところと少し違うかもしれない。創造性というアクティブなイメージですが、実際には創造性は感性を磨く等を含めての話なので誤解がないように上手く合わせた表現にして伝えていく必要があります。この地域らしい創造性を表現したいと思っています。

- f 委員 これまで60年の歴史の中で開かれた立場ではなく、どちらかという製造業ということから安全等の問題もあり一線を画した姿勢であったと思います。今回の村岡新駅に伴うまちづくりに関して、様々なみな様との繋がりが必要となり、まさに繋がりが大事なキーワードではないかと思えます。創造も繋がりに生まれ、繋がって初めて広がっていくものだと思います。我々企業もみな様と繋がって根付いて活動していく努力が必要であります。事業所内にある兜松（史跡にまだ指定されていない）が1つの歴史の繋がりを感ずる場所でもあります。今回の道路の位置関係から公開させていただいて皆さんと一緒に引き継いで繋がりを持ちながら維持していきたいというところで行政と議論させてもらっています。
- 先ほどお話が出た子供と高齢者ということで、高齢者から子供へ歴史を語り継いでもらえる1つのきっかけとなるように整備していければと思っています。そのような所がいくつも地区内にあるということであれば、生かしながら高齢者と若い方、新しく来られる方と今までおられる方が繋がれるきっかけと仕掛けを街が実施していく必要があり、企業としてはどのように一緒に参画していくかが課題と考えています。
- この先のソフトの話になるかもしれませんが、そういった場所や環境の提供を一緒に取り組んでいくこと、仕掛け・仕組みを作っていくことが一緒に創造していくことに繋がると思っています。
- 道路によって事業所内に手を加えないといけない部分があるので、意見をしっかりと伺いながら反映できるように考えていきたいと思っています。
- また、先ほど、教育の場という話も出ていましたが、事業所内に溶接の教育施設（技術者の研修センター）があります。溶接は高度な技術なので、子供向けというのは難しいですが、当社が何をしているか等を勉強していただけるようにできれば、皆さんのご意向に沿っていけるのではないかと考えています。
- そういったところを皆さんの意見を伺いながら仕掛けていく必要があると、皆さんの意見を聞きながら感じています。
- 会 長 地区にある大きな企業がそのような姿勢を表明して下さることはまちづくりにとって大きな力になります。兜松のように具体的なものがあって、そこにどう関わっていくかアイデアを練っていくと共創というものの具体的なイメージを持てるので、ビジョン編ではなく、アイデア編かもしれないがコンセプトブックの中でも書き込んでいきたいところでもあります。
- g 委員 素晴らしいビジョン編になっていると思います。
- 5 ページの仕組みの中で地区周辺を含むということで、商店や企業がまちづくりにどのように繋がっていけるのかももう少し表現してほしいです。もう少し一体として新駅や住民の方々含めてどのように繋がっていけるのかを表現してもらえると、もう少し魅力のある活力のある賑わいのある街になっていくのではないのでしょうか。
- 会 長 周辺との繋がりについて記載はあるが具体的なイメージが湧きにくいかもしれません。事務局で何か考えていることがありますか。
- 事務局 まだ具体的ではないが、考え方として「④多彩な「知」の共創体制をつくる」という所の中に地域住民、企業、研究機関、行政等の連携体制や、まちづくりを推進する活動組織ということで例示をさせていただいておりますが、周辺の企業や町内会の方等、既存の関係者の方とコンセプトブックのルールを決めるだけではなく、一緒に活動していけるような体制づくりを、まちづくりの基盤が出来る前から出来ることがあると考えているので、そういった機会を協議しながら進めたいとかがえています。
- h 委員 繋がりにという話では、対象範囲を広めにとってその中の村岡地区について、どのように玄関口として捉えるか、機能として捉えるかという話がきちんと明示されていけば分かりやすいと思っています。ターゲットも住んでいる方々、来街者向けなどセグメント分けのきちんとした捉え方があった上での施策が繋がっていると良いのではないかと思いました。コンセプトブックの入口は様々な方が入ってこられるような入口ということで、入ってきやすい入口は何かというと渡す方々に寄り添った形にしないと与えられた方も何を発想すればいいのか分からないというところ

もありますし、企業側からすると勝手な思い込みで実施することは一番良くないことだと思っているので、どのようなことを皆さんが求めているのかが違和感なく繋がるようにもっていけるように、暮らしや仕組みが同じように表現されていると分かりやすいと思います。駅は街の玄関口となる1つの象徴でもありますので、来てもらった方々に対してどのように捉えるのかという話もあるほうが良いのではないのでしょうか。この街はどのような街でどのようにお迎えをするのかというところも考えたらよいのではないのでしょうか。村岡が周辺と比べてどんな優位性があるのかを打ち出すには、これは凄いとってもらえるコンセプトになっていると良いと思います。

会 長 新しく住む人、既に住んでいる人、来街者等様々な人がいるが、セグメントで分けておらず、人と人の関係を意識して暮らしというところでは、誰がということではなく表現しており、確かに受け取った側が自分事としたときに何をすれば良いのか分かりにくいので、受け取る人の特性に合わせてどこと関わっているのかははっきりした方が良いというご意見と認識しましたので、検討していただきたいと思う。村岡らしさの尖ったコンセプトはとても大事だが、もう少しはっきりした方が良いということでしょうか。次回までの宿題とさせていただきます。

g 委 員 駅は10年後に出来る予定で、そこから人が住んで仕事をしていくのに10年、20年かかると思います。コンセプトブックは途中で修正可能なのか、その辺りの考え方・流れを聞かせていただきたい。

会 長 成長していくものなので、少しずつ変えていくものだと思っているが、事務局はどうでしょうか。

事 務 局 状況に合わせて見直しは必要と思っています。一方で、核となる考え方は軸を持ったまま村岡のまちづくりを実施していくことも大切なので、行政だけで何かを決めてしまうということではなく、見直す際は協議会や街が育つと出来てくる組織を踏まえながら考えられると思っていますが、まだ位置付けが出来ていないため、皆様からの意見を踏まえながら検討していきたいと思っています。

会 長 コンセプトブックの使い方とまちづくりのステージが少し分かりにくいというところだと思うので、補足等で分かるようにした方が良いと思いました。

i 委 員 様々なまちづくりに参画させていただく中で、他の街では一般的なコンセプトになりますが、共創する等の村岡のキーワードが他とは違い魅力的だし特色もあると思います。鉄道会社としても様々な人にどのように来ていただくかが大事だと思っており、魅力あるものを作っていくことと、駅前の在り方、お出迎えする在り方を勉強していきたいと思っています。駅前含め、1～3次交通、バリアフリー等高齢者や外国籍の方等様々な人がいらっしゃるので、どのようにコミュニケーションをとれる場や空間が作れるかということも含めて一緒に作っていきたく改めて感じたところがあります。深沢も含めてどう繋がりを作るか勉強していきたいと思っています。

会 長 コンセプトブックと並行しながら駅的设计が最初に進んでいくと思いますが、駅の在り方がコンセプトブックから外れてしまうと意味が無くなってしまいますので、まさに第一弾の共創となると思うのでよろしくをお願いします。

j 委 員 コンセプトを整理させていただく中で、商工会議所としては街の経済の活性化や企業の繁栄などを支えていくことが仕事となりますが、その観点からいくと、我々としてどう取り組むかが分かりにくかった。5ページの活動の中で経済全体が活性化したり、新しい結びつきによって企業が繁栄したりするのかという考えには及ぶが、なかなかとっつきにくいので、先ほども出ていましたが、受け取った側が入りやすい作りをしていただくとより良いと思いました。  
将来像の実現の中に安心安全なまちづくりとあります。これがどのコンセプトの中にあるのかと思った時に、5ページの仕組みの③にあたると思うが、最先端の技術を導入して安心安全なまちづくりに繋げていくと読もうとすれば読める。最先端技術を開発したり考えていく前段の過程の中で、そのような活動が出来る安全安心な

まちづくりというものがあると思ったが、先端技術の素晴らしいアイデアが出てくるまで安心安全ではないように見えるため、前段の安心安全なまちづくりをコンセプトの中で位置付けておいてもよいのではないのでしょうか。また、将来地区像の実現の4つの方針の中に村岡新駅周辺地区のまちづくりが藤沢市全市においてどのような効果があるのかがあったと思いますが、コンセプトブックの中にも、新しいまちづくりを進めることによって市全体に良い効果をもたらすというような結びつきも位置付けておく方が、まちづくりに携わる方々のモチベーションや効果を押さえておいた方が良いのではないかと思います。

会 長 まちづくり方針とコンセプトブックはセットであるので、押さえておくべき安心安全はまちづくり方針で謳っていて、尖る部分はコンセプトブックで強調していくという役割と理解していますが、事務局から説明いただけますでしょうか。

事務局 まちづくり方針が上位にあって、具体化するのがコンセプトブックであります、そこに繋がる場所が見えづらくなっているということで整理が必要であると再確認したところであります。このような生活が出来るということがベースに安心安全があるとしているが、そういったところも含めてお示ししなければいけないということと、④の多彩な知の共創体制をつくるという所で、地区内だけでなく周辺地域も逃げる場所をどのように作っていくか等のどのような連携がとれるかが④に入ってくると思っています。6ページの地形をなだらかに繋げるところでも逃げやすい空間を作っていくことや、壁を作らずに避難しやすくするという空間を作っていくことも1つの安心安全の要素にしながら全体を作っていくと考えていますが、お示し出来ていないので、頂いたご意見を踏まえながら修正していきたいと思っております。

会 長 まちづくり方針の中で整理していることが歴史や概要にもう少し載っても良いと思います。どのくらい載せるか委員のご意見を参考にして修正すると良いと思います。

k 委員 主婦目線から申し上げたいと思います。村岡とはどのような地域を言われると、子育てしやすい街と必ず言います。自転車で江の島や鎌倉も行けるし、とても子育てしやすいです。これからは世界をリードする研究を学べる機会が持てるとなると増々、魅力的な街になると思います。千葉県流山市は子育てしやすいことで有名で、保育園の送迎ステーション（働いている親の最寄りの駅の一時的な待機場所から指定された保育園へ送迎するというシステム）が設置されており、これは主婦目線からするととても大切なこと。兄弟で別々の保育園へ行くことは多々あることで、それに伴って仕事を辞めることもあります。子育てをするファミリー層に魅力的な街は必要であると思います。世界をリードする研究を学べるということは若いお父さんお母さんは食いつくと思います。若いファミリー層が増えるとその地域に活気が出て新しい文化を生み出すパワーを持つと思うので、そのような点もコンセプトブックに記載していただくと良いと思います。

会 長 子供や高齢者に優しい街は誰にとっても優しい街になるのでとても大事な視点だと思っております。

l 委員 暮らしについて、地域の住民と企業、来街者が一体となって魅力出る街が必要で、それには拠点作りが大事になってくると思います。駅周辺の拠点作りも必要ですが、地域に住む地区の魅力が出るような地域拠点も必要なので、駅を中心とした魅力ある街を実現してほしいと思います。

会 長 公民館も出来るので、上手く連携させて、電車に乗らなくても生活の質が上がっていくような拠点になればよいと思います。

d 委員 駅が出来るということで、商業施設が出来て雇用を生み出すような施設が入ってくるのでしょうか。例えば、辻堂駅はずいぶん変わって寂しくも思う、仕方ないと思う、盛んになったな、等色々な見方がありますが、今回は少し違うと思っています。シニアといっても若いシニアや高齢のシニアもいて活躍の場も違うと思いますが、もしそのような街が出来ていくのであれば厳しいのではないかと、関われる人が減っ

ていくのではないかと漠然と思うところがあります。ただ、今の話の流れだと一切出ていないと感じます。モノを売ったり買ったりするものがたくさん来る街になるのか、それによって活躍する人と向かおうとしている人は全く違うと思いました。

会 長 今回はどのように想定されているのでしょうか。

事 務 局 藤沢市全体の都市計画マスタープランがあり、その中でいくつか都市拠点を作るとなっております。村岡新駅周辺も都市拠点という形で位置付けられて、駅を核に都市拠点を作ることが全体の中であり、拠点によって役割がありますが、こちらは研究開発の拠点とすることが全体を見据えた中にあり、どのような研究開発拠点にするかということをお話させていただいています。一方、都市拠点は地域のみな様にとって便利な場所ではなくてはならないということで、一定のサービス（毎日のお買い物ができるスーパーや歯科等）は必要であると思っていますが、今回の開発区域はそんなに広くはないので、大きなショッピングセンターを作ることは藤沢市としては考えていません。研究開発拠点ということで、企業で働く、研究される方も、日常的にいらっしゃる方も増やしていきたいということで一定の雇用が生まれることを目指していきたいところです。駅前でも便利な場所をマンションだけにしてしまうのではなく、地域の方々に使っていただける場所に出来ないかという方向性で、まちづくり方針を作っています。地権者の方の土地をどのように活用していくか、まさに共創というところで、まちの姿をみな様と共有した上で目指していく街にしていく方向でコンセプトブックを作っていきたいと思っています。

副 会 長 前回以上に議論になったと思います。他の会議で意見交換していることを事務局でまとめていただいて、それがどのように伝わったか、伝わらなかったかを実感できました。特に共有したいところは、暮らしや仕組みの部分でも関わっている方々それぞれに個の立場があると思います。分かりやすかったのが、住民の方と企業の中で働いている方が同じ住民の1人となってコミュニケーションが生まれると効果があるということ、顔が見えるということは繋がりと続けていく上で大事なことであり実感しました。今までのまちづくりでは属性に分かれた表現になっているところをコンセプトブックの中で特に強調したいがためにまちづくりに関わる個を強調したいということから、仕組みや暮らしのところで表現されているということをご理解いただければと思います。人と人との繋がりが共創に繋がるし、安全安心ということも人と人のベースがあった上で施設が生まれていくと思います。村岡新駅の特徴を考えているところではありますが、親しみやすいスケール感の中で歴史や文化資源、風土景観と素晴らしいものが培われているので、生かして継承しながら魅力を付加していくといった時に企業が持っている先端技術や協力活動に繋がっていくことが出来ると思います。立場が違えば大きさも違う感じであるが、コンセプトブックではいかに平たく見せるか、見せ方に問題があることが分かりました。見せ方の事例も少しずつ話が進むと分かりやすくなるかと思いました。新しい駅を中心とした地区ということは確かだと思います。新しい景観が作られていくということだと思いますので、コンセプトブックで丘というキーワードが出来ていましたが、今までの丘陵のようなアイストップとなっていたようなものがこれからの人達が培われる場所となっていく場所という意味で丘というキーワードになっていて、新しい村岡の風土景観が形成されていけばと思います。

会 長 原点となるのは人と人との繋がりで、人にはラベリングやセグメンテーションがありますが、単純に分けてしまうより人の相互性を大事にしながら街をつくっていくことが創造性と結びついていると共感したところでもあります。まちづくりコンセプトブックの位置付けに関してはいくつか宿題が出ていました。歴史の後に課題を入れたら良いのではないかと、時間軸をどのように使っていくのか、まちづくり方針との関係をどのように書き分けるかということが議題1で出たところだと思います。議題2については、暮らしのイメージの中に子供や高齢者というのは欠かせないということがこの地域で暮らしている方々からの強い意見としてありましたので、ビジュアルか内容かということではありますが、もう少し打ち出していきたいと思っています。コンセプトブックを受け取った際にどのように各々が能動的に動いていけるのか、何を考えていけば良いのかももう少し分かるように検討していただければと思います。村岡らしさとは何かは議論しても尽きないと思いま

すが、例えば創造性と穏やかさをどのように関連付けるか考えるだけでも他の街の創造性とは違う姿が見えてくると思いますし、地形を強調するなどもあると思います。次回がビジョン編については最後となるので、それまでに精査して意見を反映させていきたいと思います。

### 3 その他

会 長 委員の皆様や事務局から何かありますか。

事 務 局 本日の会議の議事要旨は、ホームページ等で公開となります。後日、事務局で作成した議事要旨案を委員の皆様へ送付するので、ご確認をお願いします。

### 4 閉会

事 務 局 第3回の会議は、3月17日（金）午後2時からの開催を予定しています。開催前にあらためてご連絡させていただきます。  
また、まちづくり方針の冊子については机の上に置いたままをお願いします。  
以上をもって、本日の会議を閉会とさせていただきます。

（了）